

令和7年度 第2回 三木市健康づくり推進協議会 議事録

- 1 日 時：令和8年1月22日（木） 午後1時30分から午後3時00分まで
- 2 場 所：三木市総合保健福祉センター 2階 研修室
- 3 参加者：委員16名（会長含む）
- 4 傍聴者：なし
- 5 内 容：以下のとおり

1 開 会

司会進行：三木市健康福祉部健康増進課 課長

2 あいさつ

三木市健康福祉部 部長

3 協議事項

三木市食育推進計画（第4次）のためのアンケート（案）について

説明：三木市健康福祉部健康増進課 健康政策係 主査

質疑・意見

（計画について）

【委員】

「食育推進計画（第4次）」の策定期間が、国や県とずれがあるのはどうしてなのか。また、5か年計画ではなく、10か年計画とするのはなぜか。

【事務局】

国が「食育基本法」を施行し、法に基づき「食育基本計画」を策定しました。国の方向性を受けて県が計画を策定し、県の方向性を受けて市が計画を策定するという流れのため、計画のスタート時期にずれが生じています。また、今後、食育と関連性が深い健康全般についての計画「健康プランみき21」に包含するため、10か年計画としています。

【委員】

10 か年計画というのは期間が長すぎないか。また、国や県が第 4 次計画を進めているときには、三木市はまだ第 3 次計画だった。遅すぎないか。

【事務局】

策定期間については、令和 13 年度に中間評価を行います。当初立てた計画の進捗状況や改善点などを確認、見直しを行い、次の 5 年間を進めていくこととしています。

計画の策定期間のずれについては、努力義務計画のため、近隣市町の動向を注視しながら計画を策定したためです。県下比較しても、同時期に第 3 次計画を立てている市町が多数あります。

(アンケート全般について)

【委員】

すべての家庭に WEB 回答を求めるのは難しいのではないか。

【事務局】

5 歳児については、URL を貼り付けたチラシを保護者に配布、小中学校については、教育委員会に協力いただきながら、スマホやタブレットへ配信し、回答を得る予定です。18 歳以上に関しては、4 月に市内の全世帯主あてに発送する「町ぐるみ健診のお知らせ」の封筒にチラシを同封し回答を求めます。

WEB での回答が難しいとの問い合わせがあれば、紙のアンケートを送付する等、対応を考えています。

【委員】

(アンケート 5 歳児用)

問 1-1 「朝ごはんはどのような内容を一番よく食べますか」の表現は、「どのようなものを」のほうが良いのではないか。

問 1-2 「お子さんが朝食を食べない主な理由は何ですか」の回答に、「1. こどもが食べない」の表現は異質な気がする。「〇〇だからこどもが食べない」の「〇〇だから」の部分が理由になるのではないか。もしくは、「こどもが食べたがらない」(理由は分からないが) などの方が適切ではないか。

問 2 5. コンビニのお弁当やカップラーメンは、1. ごはん類や 3. 麺類に分類されるのではないか。1~3 とそれ以降、家庭で作ったものと購入したものを前提に分けているという意図は読める。改善策があれば検討してほしい。

問 3 「夜ごはん」の表現は違和感がある。「夕食」や「晩ごはん」ではないか。朝ごはん・昼ごはん・夜ごはんとして表現を統一していると思うが、朝食・昼食・夕食でもよいのではないか。

問 11-1 9.「お菓子を食べてばかりでごはんを食べてくれない」という表現に違和感がある。「○○してくれない」は、こどもに「○○してもらっている」という親の意識が反映されているため、「ごはんを食べない」という、こどもの主体的な表現に変更してほしい。

問 12 2.「農産物の収穫など体験型のイベント」の項目は、イベントとしてだけ取り上げるのではなく、家庭・地域・学校などでしている活動などを含む体験活動ではないか。また、4.「食品の安全性について知識を深める」の表現は異質に感じる。深める活動ではないか。

(アンケート小学生用)

問 1 「どのような内容を一番よく食べますか」の問い。ご飯（主食）とおかずをセットで食べるかと思うので、当てはまるものひとつだけを選ぶのは選びにくいのではないか。

問 3 よく食べるものの問いの表現について。問 1 の質問ではひとつ選択になっていたが、ここではどの基準で選ぶのか分かりにくい。当てはまるものは複数選ぶのか、ひとつだけ選ぶのか。例えば主食・主菜・副食・その他からそれぞれ選択や、いくつでも選択可、という表現など。各食品をバランスよく食べていたら非常に選びにくい。例えば、よく食べるものの箇所には複数○が付けられるようにするなど改善されたらどうか。

問 17 「お子さんの食事で困難に感じることはありますか」の問いについて。前項でアレルギーの質問はあるが、親にとって食物アレルギーは大きな問題のため、問 17-1 の選択項目の中にアレルギーは外せないと思う。別枠でアレルギーの有無の質問があったとしても、選択項目に必要ではないか。

【事務局】

アドバイス頂いた内容を踏まえ表現等を検討していきます。

【委員】

(アンケート中学生用)

問 12 「味の濃いものをたくさん食べない」の表現は違和感がある。全体的に塩分を控えた食事をしているかという意味だと思うので、例えば塩分を控えた食事を心掛けているや、味付けで塩分を控えているなどがより良いのではないか。

【事務局】

対象が中学生なので、伝わりやすい表現と考えこのようにしています。受け止める側がイメージしやすいような表現を検討したいと思います。

【委員】（県）

何を意図して聞くのか、また、それを聞いてどう評価するのかを明確にしたうえで表現をどうするのかを検討されたら良いのではないかと。

アンケート項目の中にも「スマートフォンやアプリなどの活用」という内容がある。県の政策の中でも DX の活用がすすめられている。関係団体と協働で行う食育の推進やアプリを活用した食育の推進は、行政や企業など様々なところで増えてきており、「食事や健康の評価のためにアプリを活用していますか」などの項目が入ってきててもよいのではないかと。

郷土料理の項目があるが、これは和食や食文化の継承などの評価のために挙げていると推察するが、「鍛冶屋なべ」だけを取り上げて評価するのは難しいのではないかと。例えば、「家族や祖父母などから、郷土料理について聞いたことがあるか」など、関連する質問項目があってもよいのではないかと。

令和 3 年度に県では県民調査をしており、その中の項目や表現なども参考にされたら良いのではないかと。

【委員】

（第 3 次計画の資料について）

（P18）いずみ会は食育推進活動をされていてよい取り組みだと思うが、市内で知っている人がどれだけいるのか。取り組みの紹介や活動の成果などを発信していただくことでより広がるのではないかと。

（P22）三木市の郷土料理は鍛冶屋なべだけなのか。鍛冶屋風カレーは給食でも出されていることは知っているが、鍛冶屋なべを給食に出すのはどうか。給食に出れば、家庭にもレシピが配信されるようになると思う。積極的に広めていったらより良いのではないかと。

（P24-25）令和 8 年 8 月に、第 3 次まとめとして取り組んできたことの評価をされ、11 月に第 4 次作成に向けた案を出されると思うが、第 2 次目標と達成状況において、令和 2 年度に下がっている項目もたくさんある。下がっている項目に対して、途中分析などされているのか。

また、「9.食育の推進に関わる組織・団体数を増やす」とあり、その時点では 5 団体となっているが現在は何団体になっているのか。評価までの間に働きかけや取り組みをされていると思うのでそのあたりを聞きたい。

朝食を毎日食べているこどもの割合において、令和 2 年度には下がっており、その原因を分析して毎年取り組んでいると思うが、取り組みの成果はそれぞれの校・園で集計して評価されていると思う。その部分も踏まえた最終評価が必要と思う。

【委員】（学校給食関係者）

郷土料理の鍛冶屋なべについて、鍛冶屋風カレーは給食で出しているが、

鍛冶屋なべについては見た目や味に抵抗もあり出してない。調べたところ三木の郷土料理は鍛冶屋なべしかない。今後は給食についても考えていきたい。朝食のアンケートは毎年しているがなかなか伸びない現状がある。学校給食でも「早寝早起き朝ごはん」をうたっており今後も頑張っていきたい。

【委員】（いずみ会関係者）

幼児から高齢者まで幅広い年代層に関わっている。幼児については1歳半健診と3歳児健診において、おやつレシピや楽しい食事方法の情報などを配布している。「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、吉川・自由が丘・三木の3グループで活動しており、また月に1度役員が集まり行事などの検討をしている。行政と協働した行事や取り組みをしているので、ぜひいずみ会活動に参加してほしい。

【事務局】

食育の推進に関わる組織・団体について、いずみ会やこども食堂の関係団体などいろんな活動をされている団体があると思うが、ここにあがる団体としては十分に把握できていない。関係部署などを通し現在の活動状況などを確認しつつ把握をしていきたい。

また、本日いただいたご意見をもとに、アンケート内容を検討修正します。

4 その他

(1) 保健事業について（意見交換）

ア. 「令和7年度体力づくり優秀組織表彰」文部科学大臣表彰受賞報告等
説明：三木市健康福祉部高齢福祉課 課長

イ. 「みっきい☆健康アプリ」について情報提供

5 閉会

あいさつ 三木市健康づくり推進協議会 副会長